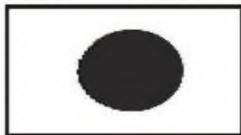


日中かわぐち

No.55
2017年2月1日

ホームページ
www.k-jcfa.com



川口市日本中国友好協会
川口市上青木西1-20-3
TEL 048-253-2177
発行責任者 加藤展祐

編集・制作 電腦倶楽部

年頭の挨拶

理事長 加藤 展祐

明けましておめでとございませう。

平成二十九年がスタートしました。昨年、川口市日中は事務局、スタッフ、幹事の皆様のご協力で大過なく、大きく羽ばたく一年であつたと感じております。

川口市日中の主体事業である中国語教室の運営は中国人講師の熱心なご指導のもと、着々と成果が出ており、従来からの事業である小学生親子の大使館訪問、県日中主催の中国語発表のつどいに参加、法人会祭りでの子供中国語教室、中国映画鑑賞会など活発に活動してまいりました。

特に七月に甘肅省蘭州の嘉木芸術館の六歳から十三歳の子供たち二十五名を含め、総勢六十五名を川口グリーンセンターに迎え、川口市書道連盟、市川嘉泉会長のご協力で、川口の小学生の作品二十五点と共に日中青少年書道交流展を盛

会に開催し、友好交流ができましたことは記憶に残ることでした。今回は県日中の後援もあり、江森副理事長のマジックも大好評でした。さらに十一月には、芝園地区文化祭に初めて参加し、中国の子供たちが残してくれた十本の作品を展示させていただきました。また、川口市日中の活動として、九月に鬼怒川一泊二日で、協会会員の懇親旅行会が行われました。さらに九月には西安へ会員十六名での研修旅行をしました。西安政法大学の日本語科の学生五名と交流会を実施いたしました。

一方世界に目を向けると英国のEU離脱他欧州各国首脳の動きなど、そしてアメリカ大統領・トランプ氏の交代はどのように日本、中国に影響するのか。日本では原発、基地問題、経済運営と問題山積です。日中関係もまた「戦略的互恵関係」と言われて久しいが今年には国交正常化四十五周年であります。民間の交流が活発になることにより政治家や官を動かしていく原動力

になつていくと信じます。川口市日中も来年設立四十五周年を迎えます。故坂本隆太郎様を始め創設時の人たちの意思を受け継ぎ、川口市日中を含め全国各地の友好団体が、さらに一人一人が「友好」の気持ちで活動することにより、一歩一歩前進すると確信いたします。

鬼怒川懇親会旅行

前田 稔夫

第四回となる今回の懇親会旅行は、七月九、十日鬼怒川おおるり荘宿泊で、行われました。

九日は江戸村に入村し、時間を合わせるために、お芝居を二、三見て、江戸村の遊び方もいろいろ勉強できました。



平成二十九年が皆様にとり素晴らしい年になりますよう、そして川口市日中中国語教室で学ぶ一人一人の中国語会話の実力が前進しますよう祈念して、ご挨拶いたします。



西安中国語研修旅行

前田 稔夫

第一日は成田 西安の移動。午後二時成田発、午後七時西安着。空港内のホテルで食事後、四日間滞りする西安賓館へ。



第二日は午前八時発、兵馬俑、華清池を見学後、川口中国語教室の李洪勳元老師が、餃子で有名な「徳発長」で餃子宴を「馳走してくださいました。弟さんの李洪亮先生（西安交通大學附属病院教授のお医者様）も一緒に参加され、楽しくひと時を過ごさせていただきました。

きました。また食欲に夜の部は豪華に唐歌舞の観劇で九時まで過ごしました。

第三日は法門寺・乾陵観光。昼は西安の珍しいハンパングで軽く食事をして乾陵へ。観光対象が離れた場所にあるので、移動に時間がかかりました。夜は西安のせいほく政法大学学生五名を交え、西安賓館で宴会料理を注文して楽しい交流会を開きました。



第四日は西安市内観光です。完全な形で保存されている古代城壁、碑林の見学。昼食は「火鍋」、豪華にいろいろな肉の饗宴で皆歓声を上げて肉と格闘して

いました。

食後、国立陝西博物館見学。重文級のコピーを解説付きで土産物として販売していたので、何人か手に入れたようです。さて日本人が西安で行きたいところの一つ、空海（弘法大師）が修業したお寺「青龍寺」を参観しました。無料です。ここでは四国八十八ヶ所の朱印帖の第〇番として朱印帖を発売していました。



最後に大雁塔がある慈恩寺の見学。元気のいい人は大雁塔を登って、三蔵法師の偉業を改めて確認していました。

芝園公民館文化祭

事務局長 林 芳男

二〇一六年度の芝園公民館文化祭に川口市日中として初めて参加しました。初級クラスの中村さんが文化祭の実行委員長ということと、とんとん拍子に参加の話が弾みました。最近は書道の展示がないということと甘肅省蘭州との書道交流展で寄贈いただいた作品を展示することになりました。



芝園公民館は芝園団地の中にあり、団地住民五千人の三十%以上が中国人ということでマスコミにも取り上げられていました。以前

は文化や風習の違いからマイナスイメージが強かったのですが、最近は商店会や自治会の働きかけもあり、中国の人達も溶け込む努力をして、自治会の加入者も増えていっています。

下見に伺った時、広場でおじいさんやおばあさん達が孫を遊ばせながら話していたり、幼稚園児を中国の若い先生達が散歩させていたりして、中国にいるような錯覚を覚えました。

蕨の駅から歩いて行けるという利便さから中国人住民の多くが都内勤務と思われま



公民館には体育館が隣接しており、その規模の大き

さが分かります。体育館を入つてすぐの右壁側に十二幅の掛軸を飾り、その前にパネルやテーブルを設置し川口市日中の活動紹介の写真やパンフを並べました。

開会式では加藤理事長が川口市日中の活動を紹介し出席メンバー一人一人も紹介しました。

体育館のステージでは中国の女の子も着物姿で踊ったり、ママさんコーラスや太極拳もありました。

外の広場では、焼きそばやフランクフルト、中国のバトミントクラブのメンバー手作りのワンタンが販売されていました。彼等は来日して十年以上のメンバーで気さくな人達でした。

私たちの活動パネルや掛軸を見て話しかけてくる中国人の夫婦や娘さんの踊りを見に来たついでに、川口市日中の活動を覗いて行く夫婦など様々な人達が来ました。皆生活の基盤をここに築いているようです。今回は次の日が法人会祭りのため一日だけの参加となりましたが、中国人以外の外国人も多く日本の将来を先

取りしたようなこの団地に、来年も何か趣向を凝らして是非参加したいと思えます。

第二回

法人会祭りに参加して

林 芳男

毎年参加していた「川口市会バザール市」が規模も大きくなり「第一回法人会祭り」として開催されました。



会場は例年同様SKIPシティです。今年から出展者のテントは主催者側で用意する(有料)ということですが、説明会に参加しました。資料の中で川口市日中のテントの場所を見て驚きま

した。科学館入口のほぼ正面が川口市日中の指定場所になっていました。

入口左手が屋外のメインステージでオープニングの「さくら太鼓」から一日中色々な催しがあり「親子中国語教室」や「あなたの名前を中国語で」コーナーはステージの音響で全く声が聞こえないことになり、すぐに場所の移動をお願いして、川口市日中の自前のテント利用ということでミュージアム入口付近の設置となりました。



当日は天候にも恵まれ、屋外のイベント日和となりました。テントの設置やパネルの設置も順調に進みオ

ープニングを迎えました。そこで予想外なことに、川口市日中のテント後ろの野外駐車場が開放されており、入つてすぐに川口市日中のテントが目に入ったのか、オープニングから人がたくさん集まりました。



あなたの名前コーナーを三ヶ所設けましたが、常に人が立ち寄る状態でした。十時頃に県日中の江森副理事長がバルーンを携え、応援に来てくださり、さらに子供たちの興味を引くこととなりました。「親子中国語教室」では今年もパンダの帽子を被った李麗老師に楽しい授業で盛り上げていただきました。

「親子中国語教室」の生徒集めは例年苦勞しますが、今年はバルーン効果と呼び込みの頑張りもあり、すぐに定員になりました。「あなたの名前を……」も、コーナーを三ヶ所とし日本語教室の高華さんの応援もあり、昨年の二・五倍の来場者がありました。怪我の功名が場所の良さもあります。県日中の江森副理事長や日本語教室の高華さんの協力と、何よりも川口市日中皆様の協力が今回の成功の第一の要因と言えます。

第十六回

中国映画無料鑑賞会

林 芳男

今年の上映作品「純愛」は満蒙開拓団を描いた日中合作映画で、内容については自信がありました。作品、主演女優、監督共に知名度が低いため来場者の人数を心配していました。

前回以上に映画会の案内やポスター等の広報に力を入れましたが、残念ながら

百十名という今までの上映会の中で一番少ない来場者となりました。それでも映画を観た後の感想は「涙が止まらない」「感動した」「中国映画を見る機会がないので、是非これからも続けて欲しい」など高い評価をいただきました。



今回の作品は大使館の映画貸出しの最後の作品となり、数少ないストックの中から貸し出していただいた作品です。良い映画はその国に暮らす人達の息遣いが感じられ、親近感さえ持つことができます。残念ながら最近では中国映

画といつても香港のコメディやアクシオン作品がほとんどです。良い作品を探しても結局旧作になってしまふのが現状です。長い間続けてきた映画会を絶やすことなく継続させるためには常にアンテナを張り巡らして、皆が求める良質な作品を探して映画会で上映するという基本が第一と感じました。今後も良質な映画を探して上映をしていきたいと思っています。

二〇一六年
中国語教室大忘年会
実行委員会 石井 勲之

中国語教室の合同忘年会が、昨年十二月二十三日午後六時より川口駅前の中華料理店・江南春において開催されました。協会理事会からは栗原顧問、波多野理事、市原理事にご出席いただき、七名の講師の方々と、全九クラスの中から受講生が集まり、総勢六十九名の参加となりました。



各クラスでそれぞれに忘年会を行うより、皆で一緒に盛大にやりましょう!という趣旨で始まった合同の教室忘年会です。今や各クラスが秋口より準備と練習



を重ねてきたクラス発表、有志によるカラオケ、抽選会など恒例の催しだけでなく、会場内の至る所で歓談する旧師弟や旧同学の姿が見られる中国語教室最大のイベントとなっています。



近年は各クラスより運営委員が集い開催・運営・進行に協力する体制となっています。そのためにスムーズに進行し、あつという間の三時間を一同楽しく過ごせたことと思います。駆けつけてくださったご来賓や講師の皆様はもちろんだこと、開催にご尽力いただ

た事務局の皆様、運営進行にご協力いただいた運営委員、有志の皆様、たいへんありがとうございました。

中国語研修旅行

幹事 前田 稔夫

今年の中国語研修旅行は北京・承德か少林・龍門石窟のどちらかです。日程は九月十五日(金)に出発、十九日(火)に帰る予定です。料金は調整中です。

川口市日中懇親会

幹事 前田 稔夫

箱根一泊二日を計画中です。細部決定次第募集をかけますので、多数のご参加をお待ちしております。

編集後記

各行事担当者の沢山の寄稿に感謝いたします。年も改まり、世界情勢がめまぐるしく変わるうとしていますが、吉と出るか凶と出るか見守るしかありません。日本でも豊洲問題、オリンピックなど、不安と期待が入り混じっています。